

ディプロマ・ポリシー (DP)

人材養成の目的および教育研究上の目的のもと、次に掲げる資質・能力を有していると認められる者に学位を授与する。

【知識・理解】

DP1：本質および実際の意義を理解した上での基本的法的知識を修得し的確に説明することができる。

【技能】

DP2：事実を正確に把握し法的問題を抽出する能力を有している。

DP3：事実を法的に分析し問題解決に至る論理的道筋を整理する能力を有している。

DP4：法的に表現・議論・説得することができる能力を有している。

【態度・志向性】

DP5：地域に貢献する法曹としての高い使命感と倫理観を有している。

*3つのポリシー DPと

特に強く関連：◎ 強く関連：○

部門	授業科目名	必修 選択必修 選択	単位数	配当年次	期別	知識・理解	技能				態度・志向性
						DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP5
1 法律基本科目・基礎科目	憲法Ⅰ（基本的人権論）	必修	2	1	前期	◎	○	○	○		
2	憲法Ⅱ（統治機構論）	必修	2	1	後期	◎	○	○	○		
3	行政法Ⅰ（行政過程論）	必修	2	1	後期	◎	○	○	○		
4	民法Ⅰ（総則）	必修	2	1	前期	◎	○	○	○		
5	民法Ⅱ（物権法）	必修	2	1	前期	◎	○	○	○		
6	民法Ⅲ（担保物権法）	必修	2	1	後期	◎	○	○	○		
7	民法Ⅳ（債権総論）	必修	2	1	前期	◎	○	○	○		
8	民法Ⅴ（契約法）	必修	2	1	後期	◎	○	○	○		
9	民法Ⅵ（不法行為法）	必修	2	1	後期	◎	○	○	○		
10	民法Ⅶ（家族法）	必修	2	1	前期	◎	○	○	○		
11	民事訴訟法Ⅰ	必修	2	1	後期	◎	○	○	○		
12	刑法Ⅰ（総論）	必修	2	1	前期	◎	○	○	○		
13	刑法Ⅱ（総論・各論）	必修	2	1	後期	◎	○	○	○		
14	刑法Ⅲ（各論）	必修	2	1	後期	◎	○	○	○		
15	行政法Ⅱ（行政救済論）	必修	2	2	前期	◎	○	○	○		
16	商法	必修	2	2	前期	◎	○	○	○		
17	会社法Ⅰ	必修	2	2	前期	◎	○	○	○		
18	会社法Ⅱ	必修	2	2	後期	◎	○	○	○		
19	民事訴訟法Ⅱ	必修	2	2	前期	◎	○	○	○		
20	民事訴訟法Ⅲ	必修	2	2	後期	◎	○	○	○		
21	刑事訴訟法Ⅰ	必修	2	2	前期	◎	○	○	○		
22	刑事訴訟法Ⅱ	必修	2	2	前期	◎	○	○	○		
23 法律基本科目・応用科目	民法演習Ⅰ	必修	2	2	前期		◎	◎	◎		
24	民法演習Ⅱ	必修	2	2	後期		◎	◎	◎		
25	民法演習Ⅲ	必修	2	2	後期		◎	◎	◎		
26	総合演習Ⅰ（民事法）	必修	2	3	後期		◎	◎	◎		
27	総合演習Ⅱ（公法）	必修	2	3	後期		◎	◎	◎		
28	総合演習Ⅲ（刑事法）	必修	2	3	後期		◎	◎	◎		
29	憲法演習Ⅰ	選択	2	1～3	前期		◎	◎	◎		
30	民法演習Ⅳ	選択	2	1～3	前期		◎	◎	◎		
31	刑法演習	選択	2	1～3	前期		◎	◎	◎		
32	行政法演習Ⅰ	選択	2	2～3	後期		◎	◎	◎		
33	民事訴訟法演習	選択	2	2～3	後期		◎	◎	◎		
34	商法演習Ⅰ	選択	2	2～3	後期		◎	◎	◎		
35	憲法演習Ⅱ	選択	2	3	前期		◎	◎	◎		
36	行政法演習Ⅱ	選択	2	3	前期		◎	◎	◎		
37	商法演習Ⅱ	選択	2	3	前期		◎	◎	◎		
38	刑事訴訟法演習	選択	2	3	前期		◎	◎	◎		
39 法律基本科目・入門科目	法律基本演習	選択	2	1～3	後期		◎	◎	◎		
40	刑事訴訟法入門	選択	2	1～3	前期	◎					
41	裁判制度概論	選択	2	1～3	前期	◎					
42	判例講読	選択	1	1～3	前期	◎					
43 法律実務基礎科目	法曹倫理	必修	2	2	後期						◎
44	民事実務基礎論	必修	2	2	後期	○	◎	◎	◎		
45	刑事実務基礎論	必修	2	2	後期	○	◎	◎	◎		
46	刑事実務演習	必修	1	2	後期	○	◎	◎	◎		
47	民事実務演習	必修	2	3	前期	○	◎	◎	◎		
48	法情報・法文書入門	選択	2	1～3	前期		◎	◎	◎		
49	要件事実論	選択	2	2～3	前期	◎	◎	◎			
50	企業法務論	選択	2	2～3	後期	◎	○	○	○		
51	家事事件処理手続論	選択	2	3	後期	◎	○	○	○		
52	民事紛争処理手続論	選択	2	3	後期	○	◎	◎	◎		
53	リーガル・クリニック	選択	2	3	前期		◎	◎	◎		◎
54	リーガル・コミュニケーション演習	選択	2	3	前期		◎	◎	◎		
55	エクスターンシップ	選択	2	3	前期集中						◎

	部門	授業科目名	必修 選択必修 選択	単位数	配当年次	期別	知識・理解	技能				態度・志向性
							DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	
56	基礎法学・隣接科目	紛争処理の法理論	選択	2	1～3	後期	◎	○	○	○		
57		法と企業会計	選択	2	1～3	後期	◎					
58		法と行政	選択	2	1～3	後期集中	◎					
59		法と情報	選択	2	1～3	後期	◎					
60		法と医学	選択	2	1～3	後期	◎					
61		アジア法制度論	選択	2	1～3	前期	◎	○	○	○		
62	外国文献講読	選択	2	1～3	前期	◎						
63	展開・先端科目	倒産処理法Ⅰ	選択必修	2	2～3	前期	◎					
64		倒産処理法Ⅱ	選択必修	2	2～3	後期	◎	○	○	○		
65		国際私法Ⅰ	選択必修	2	2～3	前期	◎	○	○	○		
66		国際私法Ⅱ	選択必修	2	2～3	後期	◎	○	○	○		
67		国際公法	選択必修	2	2～3	後期	◎					
68		経済法	選択必修	2	2～3	前期	◎	○	○	○		
69		環境法	選択必修	2	2～3	前期	◎	○	○	○		
70		労働法	選択必修	2	2～3	前期	◎					
71		労働法演習Ⅰ	選択必修	2	2～3	後期		◎	◎	◎		
72		労働法演習Ⅱ	選択必修	2	2～3	前期		◎	◎	◎		
73		租税法	選択必修	2	2～3	前期	◎	○	○	○		
74		知的財産法	選択必修	2	2～3	後期	◎	○	○	○		
75		民事執行・保全法	選択	2	2～3	後期	◎					
76		医療福祉と人権	選択	2	2～3	後期	◎				○	
77		環境訴訟の実務	選択	2	2～3	前期	◎					
78		保険法	選択	2	2～3	前期	◎	○				
79		交通事故賠償論	選択	2	2～3	前期	◎	○	○	○		
80		自治体法務論	選択	2	2～3	後期	◎					
81		社会保障法	選択	2	2～3	前期	◎					
82		刑事弁護論	選択	2	2～3	後期		◎	◎	◎	○	
83		実務刑罰論	選択	2	2～3	後期	◎					
84		子どもの権利	選択	2	2～3	前期	◎				○	
85		都市法	選択	2	2～3	前期	◎					
86		銀行取引と法	選択	2	2～3	前期	◎					
87		消費者法	選択	2	2～3	後期	◎					
88		ハラスメント問題の法律実務	選択	1	2～3	前期集中	◎					
89	展開・先端系演習Ⅰ	選択	2	2～3	—		◎	◎	◎			
90	展開・先端系演習Ⅱ	選択	2	2～3	—		◎	◎	◎			
91	展開・先端系演習Ⅲ	選択	2	2～3	—		◎	◎	◎			
92	特別演習ⅠA	選択	2	2～3	—		◎	◎	◎			
93	特別演習ⅠB	選択	4	2～3	—		◎	◎	◎			
94	特別演習ⅡA	選択	2	2～3	—		◎	◎	◎			
95	特別演習ⅡB	選択	4	2～3	—		◎	◎	◎			
96	特別演習ⅢA	選択	2	2～3	—		◎	◎	◎			
97	特別演習ⅢB	選択	4	2～3	—		◎	◎	◎			

法曹実務研究科法務専攻専門職学位課程の修了の要件は、次の各号のいずれにも該当することとする。

- (1) 法科大学院に3年以上(次条に規定する在学期間の短縮の適用を受ける者にあつては2年以上、長期在学履修を認められた者にあつては5年以上)在学すること。
- (2) 別表第1に規定する授業科目について、次のアからオまでに掲げる区分に応じ、当該各区分に定める科目の単位数を修得し、総計98単位以上を修得すること。

ア 法律基本科目群 必修科目56単位及び応用科目の選択科目6単位以上

イ 法律実務基礎科目群 必修科目9単位及び選択科目2単位以上

ウ 基礎法学・隣接科目群 選択科目4単位以上

エ 展開・先端科目群 選択必修科目4単位以上を含む12単位以上

オ その他の選択必修科目及び選択科目 これらのうちから9単位以上

DPに示す資質・能力を有していると認められるものに学位が授与される。

法律基本科目・入門科目 基本的な法知識や法的思考能力を身に付ける。

法律基本科目・基本科目 憲法、行政法、民法、商法、民事訴訟法、刑法及び刑事訴訟法に関する分野の科目について基本的な知識・理解を修得する。

法律基本科目・応用科目 上記科目につき、事例における法的論点を抽出し、事実を分析した上で、法的解決を図る道筋を考察し、それを表現できる力を身に付ける。

法律実務基礎科目 法曹としての技能及び責任その他の法律実務に関する基礎的な分野について学ぶ。

基礎法学・隣接科目 基礎法学に関する分野又は法学と関連を有する分野について学ぶ。

展開・先端科目 先端的な法領域に関する科目その他の実定法に関する多様な分野についての知識を修得する。

1 年次 法律基本科目について基本的な知識の獲得と法的思考能力の養成

2 年次 引き続き訴訟法等を中心とした法律基本科目の基本的知識の獲得とその応用として法的論点抽出力、事案分析力、法的思考力、論述能力を身に付ける。

2 年次後期から 3 年次前期にかけて、法曹としての技能及び責任等について学び、実務家としての能力を身に付けるとともに、実体法・手続法への理解を深める。

3 年次 法的論点抽出力、事案分析力、法的思考力、論述能力を司法試験に合格できるレベルまで引き上げるとともに、先端的な法領域に関しても多様な知識を修得する。